



# 毎月20日は ペットフードの日

## ライフステージ別のフード

犬 猫

### ライフステージ別の区分

犬や猫では、成長段階によって、必要とするエネルギーの量が違います。このため、市販のペットフードの多くは、ライフステージに合わせた栄養設計がされています。各ライフステージに合わせてフードを与えましょう。

#### ① 哺乳期

生まれてから30日程度までの期間をいいます。この時期は母乳で成長します。市販のミルクを利用する場合には、犬には犬用、猫には猫用のミルクを与えます。

#### ② 離乳期

生後約20日から60日くらいまでの期間をいいます。犬用や猫用の幼犬・幼猫用フードを与えます。これらが手に入らない場合には、成長期フードをお湯やミルクでふやかして与えることも可能です。

#### ③ 成長期

小型犬では生後約50日から10ヶ月程度、中型犬では生後約50日から1年程度、大型犬では生後約50日から1年半程度、超大型犬では生後50日から2年程度、猫では生後約50日から1年程度の期間をいいます。市販製品では、子犬用（成長期犬用）、または、子猫用（成長期猫用）のフードがあります。

#### ④ 成犬・成猫期

成長期以降の1歳～6歳までは、成犬。成猫フードを与えます。1日に必要な食事を2回程度に分け、なるべく毎日同じ時間帯に与えます。

#### ⑤ 高齢犬・高齢猫期

高齢期に入った犬・猫は、成犬・成猫期に比べ運動量や代謝能力が低下するので消費エネルギーが減り、食欲が低下することがあります。健康維持のため高齢期フードを与えるのが好ましいとされています。

犬と人間、猫と人間の年齢のめやす (品種などによってもこの関係は違ってきます)

大型犬	人間	小型犬・中型犬および猫	人間
1歳	12歳	1歳	15歳
2歳	19歳	2歳	24歳
3歳	26歳	3歳	28歳
5歳	40歳	5歳	36歳
7歳	54歳	7歳	44歳
10歳	75歳	10歳	56歳
12歳	89歳	12歳	64歳
15歳	110歳	15歳	76歳



ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより